



〔 病院理念 〕

- ・常に人命の尊重と人間愛に基づいた医療・介護につとめます。
- ・全ての人に平等に心身両面にわたる医療・介護につとめます。
- ・地域の人達から信頼されるよう研鑽と協調をすすめます。

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 良俊会
ふくの若葉病院

終末期ケアの取り組み

～患者さんのご家族の心が癒される終末期ケアを目指して～

- 基本姿勢**
- ☆ 患者さんとそのご家族をケアの対象とする
 - ☆ 死を自然なこととして捉える

取り組みの実際

1. 「人生の最期をどのように迎えたいか」患者さんのご家族の思いの確認

- 1) 入院時の患者・家族、それぞれを対象にしたアンケートの実施
- 2) 家族と多職種が参加しての終末期カンファレンスの実施



2. 想いや望みを尊重したケア

- 1) 「最期まで口から食べる」を支援：経管栄養からの離脱、中心栄養静脈＋経口摂取
- 2) 「桜を見たい」「墓参りをしたい」「家に帰りたい」：外出支援
- 3) 「〇〇（息子）に会いたい」：面会依頼
- 4) 思い出の歌（文部省唱歌・童謡・軍歌・昭和天皇ご詠歌・・・）で癒しのかかわり
- 5) 発病以来、禁じられていたアルコール・コーラ・コーヒー等の提供：「一緒に飲んでくれ」といわれ、飲む真似をしビールで乾杯

3. 個室（無料）の提供

料金の心配をせずに、家族だけの大切な時間と空間を配慮



4. 退院時の着物の準備

お気に入りだった着物、記念日に着用した着物、家族にとっての思い出の着物など

5. 最期まで、できるだけいつもと同じように過ごしていただく

その日の状態さえ安定していれば、入浴も、食事も、時には散歩も・・・

6. 退院は、全て正面玄関から、できるだけ多くの職員でお見送りする

病棟を出られる時は、他の患者さん方の見送りを受け、お別れの機会をつくる

親や、配偶者など、家族にとってはかけがえのない人であることを心にとめて、今後も当院で最期を迎えられる全ての患者さんご家族に「人生の最後をふくの若葉病院で迎えることが出来てよかった。」と言って頂けるような終末期ケアを行いたいと思います。

大正琴

9月18日（水）、エントランスホールにてすぎなの会の皆さんによる大正琴の演奏会が行われました。

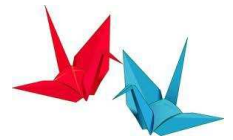
「瀬戸の花嫁」や「りんごの歌」など、一緒に歌える曲をたくさん演奏してくださいました。

大正琴に合わせて歌い、楽しい時間を過ごしました。



小学生慰問

11月11日（水）、通所リハビリテーションに小学6年生2名が慰問に訪れ、リコーダーと鍵盤ハーモニカの演奏や、折り紙などでふれあいました。



音楽の集い&抹茶お点前

11月18日（水）、エントランスホールにて大江先生による音楽の集いが行われました。その後、中島社中の6名の方から抹茶が振る舞われました。

参加された方は、「おいしいね」「久しぶりに飲みました」などと大変喜ばれました。



中日ボランティア賞

当院で、音楽の集いのボランティアを続けてくださっている大江幸代さんが、北陸中日新聞などが主催する、中日ボランティア賞を受賞されました。



2015年12月17日（木）朝刊掲載

2015年度 中日ボランティア賞

心を癒やす演奏家

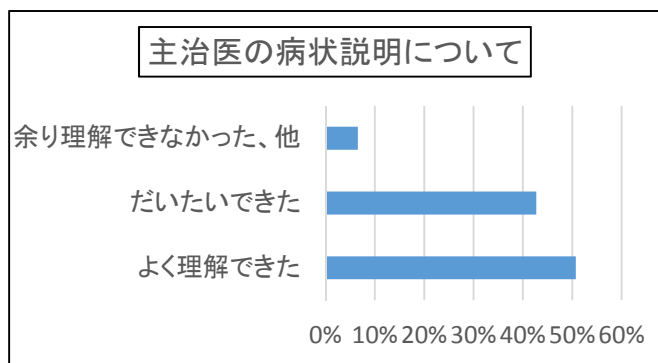
大江幸代さん 南砺市

子どもたちを指導するピアノ教室の先生は、患者や高齢者の心を癒やす演奏家でもある。自宅近くのくく若葉病院（南砺市）で毎月一回、音楽療法のためのコンサートを始め、9年、百八十回延べ九千人に与える音楽を届けてきた。

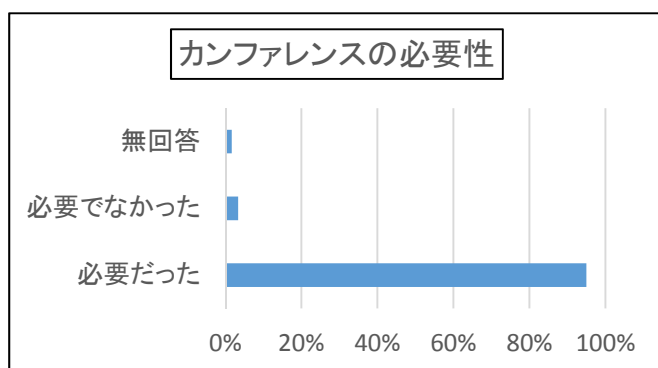
母を亡くするため訪れた病院でピアノを自ら協力を出した。誰かが口をきくように音程を下げてリコーダーを弾いたり、懐メロや童謡、民謡と何でも弾き、「待つってよ」と囁くでもらえるのが何よりの励み。顔なじみになった患者の訃報を受け取る分、元気な姿を見ると安堵感も大きい。「音楽に触れると笑顔が増える。私も元気な限り、力になり続けたい」

★ ご遺族へのアンケートから ★

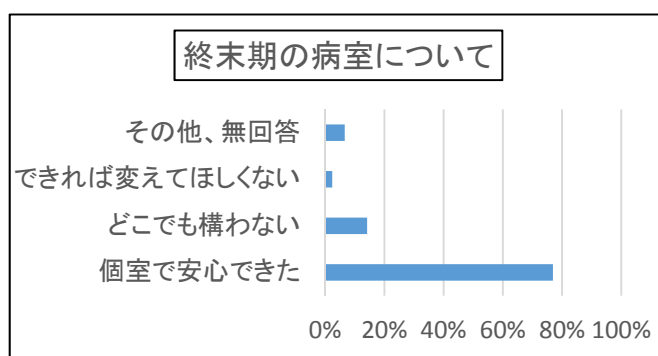
私達は平成15年度から、当院でお亡くなりになった患者さん全てのご家族に対し、3か月を経過した頃にアンケートを送付してきました。今回は、平成22～26年度の集計結果の一部を紹介いたします。（回答総数210通、回収率73%）調査結果やご意見から、様々な改善のヒントをいただいたことを、紙面を借りて心より感謝申し上げます。



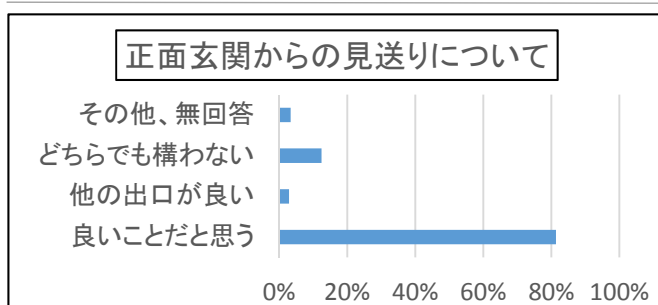
「よく理解できた」が50%と、他の項目より評価が低かった。家族は気持ちが動揺していたり心の準備が出来ていない等の状況にあることが多いことから、日頃からの関係づくりが大切である。現在、面談に同席していた看護師や相談部職員が、その後のフォローに努めている。



95%が「必要だった」と回答し、その理由では「心の準備ができた」「親戚・知人に連絡できた」「家族間の話し合いができた」「その後の家族の対応に役立った」などの回答が多かった。今後できるだけカンファレンスを開き、心の準備と残された期間の過ごし方を共に考える機会としていきたい。



「個室に入れ、安心できた」との回答が78%でしたが、「どこでも構わない」「できれば変えてほしくない」を合わせると17%あり、多床室の場合は同室者への配慮について説明する必要があると感じている。また、「個室料金が気になった」との回答があったので、今後も料金に関する誤解がないように対応していきたい。



当院では、退院はどのような場合も正面玄関からと決めてきた。そこで、「正面玄関からのお見送り」について質問したところ81%の方に肯定的な評価をいただいた。夜間帯および休日も含め、今後も継続していきたい。

アンケート結果はホームページと正面玄関ホールに掲示してありますのでご覧ください

面会制限について

当院では、ノロウィルスやインフルエンザなどの流行の切迫度に応じてレベル1～3の「面会制限レベル」を設定しております。

レベル	制限内容など
1	小学生以下および体調不良者（発熱・嘔吐・下痢など）の面会を禁止する。
2	上記に加え、面会時間を14時～16時のみとし、15分以内とする。 また、大勢での面会を避ける。
3	特別に許可された面会者以外の面会を禁止する。

※これらの期間中は、**マスクと手洗い**を励行してください。**レベル2以上**では、病棟において手洗い指導（初回）を受けて下さい。また、**2・3の場合**は、「**健康チェック表**」の記載にご協力をお願いいたします。

診療内容・診療時間・アクセスマップ

● 診療科

内科、神経内科、リハビリテーション科

● 外来診療

午前：9:00～12:00

午後：13:00～16:00

	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○

● 休診日

土曜、日曜、祝祭日、

お盆(8/14～16)、年末年始(12/30～1/3)

● アクセスマップ



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 良俊会



ふくの若葉病院

〒939-1521 富山県南砺市苗島367番地

TEL 0763-23-1011 FAX 0763-23-1020

インターネットで検索ください！！

<ホームページ>

<http://www1.tst.ne.jp/wakaba/>

<ブログサイト>

<http://fukunowakaba.blogspot.jp/>